

ボートハウス周辺一帯のこまつ水門パークは、ウォーキングや野鳥観察などを楽しめる市民の交流の場となります。

また、国土交通省金沢河川国道事務所と連携し、梯川や前川の歴史、生息する動植物などについて学び、水害からまちを守る仕事を体験できる場所として活用していきます。

自然を満喫「こまつ水門パーク」

これまで小松市から3人のオリンピック選手を輩出しているボート競技。現在も市内出身の選手が国内外で活躍しています。

新施設には、トレーニングルームや艇庫を備え、快適な練習環境で選手への競技力向上を推進します。

市民も利用できるミーティングルームのほか、白山連峰や空港に向かう航空機、水辺の景色などが一望できる展望テラスがあります。

ボート競技の更なる飛躍

梯川と前川が合流するエリアに、3月10日、梯川ボートハウスがオープンします。ボート競技の振興はもちろん、市民の皆さんの学習や交流の新たな拠点となります。

問い合わせ

スポーツ育成課 ☎24・8139



東京オリンピック・パラリンピックを未来へつなごう

vol.3

水の郷こまつに「梯川ボートハウス」が完成



ボート競技の拠点

- ◀ 梯川で練習に励む学生
- ▶ 選手が利用できる梯川ボートハウスのトレーニングルーム



展望スポット



▲ 展望テラスから白山や飛行機、夕日、水辺の風景などを望むことができます。

梯川ボートハウス(小島町地内)

展望ルーム、ミーティングルーム(有料)

開館時間 8時~18時

☎46・6595

水辺散策



▲ 水郷の風景を楽しみながら、散歩やジョギングでリフレッシュ。

自分がつらいときは、一人で悩まないで
家族や友達、信頼できる人に相談しようと思う。

自分の命、家族の命、友達の命、
いろんな人の命を大事にしながら
生きていきたい。

命の大切さを改めて感じました。

友達の元気がなかったら、
寄り添って話を聞いてあげたいです。

市内中学校2年生を対象にした「いのちの大切さを学ぶ講演会」感想文より

やさしさの絆をつなぐゲートキーパー

つながぎ

早めに専門家に相談するよう促す。

見守り

温かく寄り添いながらそっと見守る。

気付き

家族や仲間の変化に気付いて、声を掛ける。

傾聴

本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける。

身近な人の悩みに気付き支えるゲートキーパー

ゲートキーパーは、悩んでいる人のサインに気付き、声を掛け、話を聞いて、専門家や相談窓口など必要な支援につなぐ人のことです。それぞれの立場で、できることから進んで行動を起こしていくことが、自殺防止につながります。

身近な人の悩みに気付き支えるゲートキーパー

町内や団体で、ゲートキーパー研修を開催しませんか

一人で悩まないで。命と心を支える相談先



大切にしたい、ひとひとの命

3月は「自殺対策強化月間」です。3~4月は、環境の変化が多いことから、気持ちが不安定になりやすい時期。悩みが複雑化したり、悩みを抱えた人が孤立したりしてしまう前に、解決に近づく相談先や、話を聞いてくれる相手につながる事が大切です。

問い合わせ

いきいき健康課 ☎24・8161

あなたの周りの人はどうですか

家族や職場など身近な人の様子が最近おかしいなと思ったら、それは心のSOSのサインかもしれません。

- 口数が減った
- 食事が減り、やせた
- 生活が不規則になった
- 疲れや身体の不調を訴える
- 趣味などに興味がなくなった

心の不調は本人が分からないこともあります。早めに声を掛けてみましょう。

地域の皆さんで、ゲートキーパーの役割やストレスとの付き合い方など、心の健康について学ぶことができます。自分や周りの人の心に目を向けてみませんか。

詳しいことは、いきいき健康課までお問い合わせください。

悩みがあり辛いときは、SNSにつぶやくのではなく、まずは家族や友人、頼れる人、専門の相談員などに相談してください。

心の健康や子育て、介護のことなど、暮らしの様々な専門相談窓口をまとめた「相談先掲載カード」を作成しました。市役所などの公共施設、金融機関、医療機関、コンビニエンスストアなどにあります。

各種相談先は、市ホームページにも掲載しています。



▲相談先掲載カード



◀市ホームページ各種相談窓口一覧へ